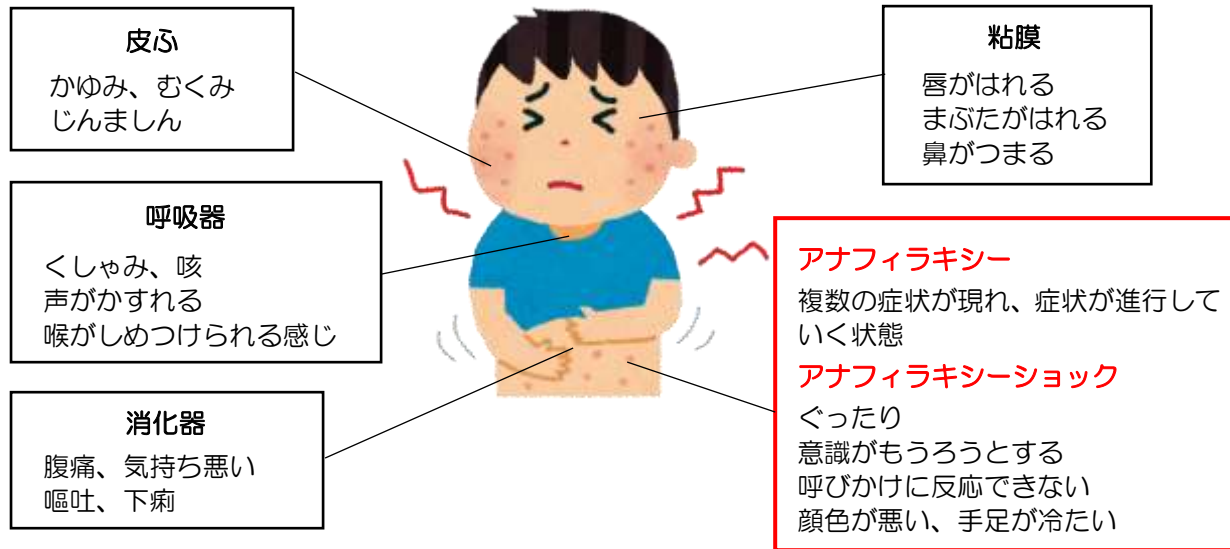


—昨年から、室生の子もたちのより良い成長のために、室生小学校と室生中学校が連携して、健康について発信する取組をしています。

今回は、先日小中合同研修で学習した「食物アレルギー」についてお伝えします。研修は、グランソール奈良から3名の先生をお招きして、食物アレルギーに関する基礎知識についてと緊急時の対応についてお話を聞きました。

## 食物アレルギーの症状とは？

免疫が強く働き、ある特定の食べ物に対して体が激しく反応してしまうことを「食物アレルギー」といいます。症状は人によってさまざま、体調によっても異なります。ひどい場合には、アナフィラキシーショックといって、命に関わる場合があります。



## 特定原材料とは？

アレルギーを引き起こしやすく、食品表示が義務づけられている食品（特定原材料）は次の8品目です。その他にも、表示が推奨されている食品として、アーモンド・あわび・いか・いくら・オレンジ・カシューナッツ・キウイフルーツ・牛肉・ごま・さけ・さば・大豆・鶏肉・バナナ・豚肉・松茸・もも・山芋・りんご・ゼラチンがあります。



## 食物アレルギーのタイプとは？

児童生徒に見られる食物アレルギーは大きく3つのタイプに分類されます。タイプを知ることによって、誤食したときにどのような症状が現れるかをある程度予測することができます。

食物依存性運動誘発アナフィラキシーは、原因食物の摂取と運動などの誘因が組み合わさることによってアナフィラキシー症状が現れる疾患です。食後2時間以内の運動で発症することが多いことから、学校では給食後の休み時間や体育などで配慮が必要です。

タイプ	頻度の高い発症年齢	頻度の高い食物	治る可能性	アナフィラキシーの危険性
即時型症状	乳幼児～成人期	乳児～幼児：鶏卵、牛乳など 学童～成人：甲殻類、小麦など	鶏卵、牛乳、小麦、大豆などは高い	高い
食物依存性運動誘発アナフィラキシー	学童期～成人期	小麦、甲殻類など	低い	とても高い
口腔アレルギー症候群	乳児期～成人期	果物、野菜など	低い	低い

## 緊急時の対応は？



誤食した場合や緊急性の高いアレルギー症状が現れた場合は、①発見者は児童生徒から目を離さない②助けを呼び、人を集める③集まった人にエピペンとAEDの手配を依頼する④救急車の要請を依頼するなど役割分担をして対応にあたります。可能なかぎり記録をとっておきましょう。

緊急時に備えた処方薬として、内服薬やエピペン（アドレナリン自己注射薬）を処方されている場合は使用します。ただし、一時的な効果しかないので使用後は速やかに医療機関に搬送する必要があります。

